

第6回土地家屋調査士特別研修 実施計画（概要）

1 実施主体

日本土地家屋調査士会連合会

2 協力機関

日本弁護士連合会、各弁護士会、財団法人日弁連法務研究財団

3 運営協力

各ブロック協議会、各土地家屋調査士会等

4 土地家屋調査士特別研修の内容（概要）

研修内容ごとに次の5つに分類される。

- (1) 基礎研修 <17時間>
- (2) グループ研修 <15時間>
- (3) 集合研修 <10時間>
- (4) 総合講義 <3時間>
- (5) 考査 <2時間>

5 カリキュラム（予定）

- (1) 基礎研修 <17時間>
 - ① 憲法 (2時間)
 - ② ADR代理と専門家責任 (2時間)
 - ③ 民法 (3時間)
 - ④ 所有権紛争と民事訴訟 (4時間)
 - ⑤ 民事訴訟法Ⅰ (2時間)
 - ⑥ 民事訴訟法Ⅱ (2時間)
 - ⑦ 境界確定訴訟の実務 (2時間)
- (2) グループ研修 <15時間>
 - ① 申立書の起案＋問題研究 (5時間)
 - ② 答弁書の起案＋問題研究 (5時間)
 - ③ 倫理 (5時間)
- (3) 集合研修 <10時間>
 - ① 申立書起案（講義・講評） (5時間)

- ② 答弁書起案（講義・講評） （ 5 時間）
- (4) 総合講義 < 3 時間 >
- ① 倫理 （ 3 時間）
- (5) 考査 < 2 時間 >
- ① 択一式・記述式 （ 2 時間）

6 考査及び認定

考査は、日本土地家屋調査士会連合会が主体となり、公平・公正を期して実施する。

日本土地家屋調査士会連合会による土地家屋調査士特別研修の実施報告及び受講者の民間紛争解決手続代理能力認定の申請を基に、法務大臣が認定する。

以上